

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものにしよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホーム「なごみ」 森の家
所在地 (県・市町村名)	宮城県栗原市志波姫
記入者名 (管理者)	三浦幸子
記入日	平成 19 年 11 月 27 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	地域密着型サービスとして当ホームで11月より共用型デイサービスを行う為理念の再検討が必要である。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	日々の行動、言葉掛け等自己評価しながら、理念の実現に向けて継続し、努力する必要がある。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	広報誌なごみ便りにも掲示している。(昨年の評価委員よりアドバイスあり)
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	老人ホーム、デイサービスとの交流。又地域の方と一緒に公園の清掃に職員と利用者で参加し交流に努めている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	一部の限られた方だけでなく、気さくに立ち寄ってくれるように努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症対応型共同生活介護 認知症対応型通所介護(共用型)を始める。	○	地域密着ケアの事業所としてグループホームの役割、誇り自信を持って取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員個人ごとに自己評価を行い、まとめている。一人ひとりが外部評価を理解している。	○	職員一人ひとり自己評価する事でG・Hを理解し不足している点を見出している。職員全員で一歩前進出来るように努めている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H18年度は推進会議を年6回行っている。事業報告参照、会議を持ちG・Hを理解して頂き、地域とのパイプの役になって頂いている。	○	委員の方から議題提供して頂いている。またホームの問題点を(庭造り、旅行の付き添い等)投げかけていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	推進会議の委員に委嘱している。通所介護を行うにあたり、ご指導して頂く。今回の新規事業を行うに当たり市の担当者より助言を頂く。	○	市町村との連携を取りながら、地域の中心的事業所として地域に貢献していく所存である。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ケアマネ研修や市、県での研修等に出かけて理解を深めている。	○	必要な人がいる場合、もしくは地域にも目をむけていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加している。又内容を職員全員に会議等で伝達している。常にその事を念頭に置きながらケアを行っている。	○	精神的虐待、薬物による虐待など学習会を行いたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	<p>新事業も面会時に説明、また広報誌に文章で説明を行っている。その都度十分な説明を行い、納得頂く様努めています。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>常に会話を多く持ち、内面的な事を感じとれるように、また気軽に何でも話せるような体制を取っていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	<p>定期的外来受診で変わりがない時にも報告していきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>苦情相談窓口がある事を広報誌などにも掲載しても良いのではないかと。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>福祉会全体の会議や理事会に出席して、運営について様々な意見を聞いている。それを職員に伝達している。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	<p>勤務作成時に職員全員に休み希望を聞き作成している。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>利用者とのお別れ会、新しい職員は利用者全員そろった所で互いに自己紹介を行っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
している。			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等に参加している。又内容を職員全員に会議等で伝達している。常にその事を念頭に置きながらケアを行っている。研修に一人2～3回程参加できるように配慮している。	○ グループホーム協会の相互評価や交換研修に参加しスキルアップに努めている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で毎年一回意見交換の場を設けている。またグループホーム協会ですぐに研修や他施設との交換研修があり日々努力している。	○ 同業者とケアマネと年1回の懇親会 交換研修4回 相互研修に参加している。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	人間関係でのストレスが最小限にとどまるよう理解に努めている。	○ 何でも話し合える様雰囲気作りに努めている。意識調査を行った。仕事が時間内に終了するように記録などを検討する必要がある。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経験、実績・資格などを考慮し個性を活かし仕事に従事している。常に「なぜ」と疑問をもち解決につなげる努力を日々おこなっている。	○ 資格取得者に法人より報奨金がでている。職員の趣味を生かしそれぞれ活躍している。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	身体状態や精神状態を全体的に汲みとれる様努力している。	○ 不安な事、気にしている事など何度も話してくるがその都度ゆっくり話をきいている。抱えている不安を受容に努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時に自宅での介護の様子などを聞かせて頂き、ねぎらいの言葉を掛けたりしている。本人のみでなく、家族も含め安心して生活できるように、支援している。	○ ホームでの生活の様子等を家族にお知らせする等して密に連絡を取り合い、事故や誤解のない様に努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたことに関して誠実に対応出来るように努力している。又入所申し込みに見えられ相談受けたときにアドバイスしている。	○	状態の低下がみられたときなど、医師、家族、職員とで今後のことを検討している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に自宅や病院に出かけ本人と話をしたり、生活の様子を伺っている。まだ家族と一緒にホームの見学に来られている。	○	ホームでの生活の様子、一日の流れなど簡単に本人、家族に説明している。利用者と一緒にお茶を飲んだりしてふれあいを持っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意な面を見出し発揮出来るように工夫している。様々な面で見習うべきことが多々ある。	○	出来ること、やりたいことを見出し一緒に行っている。感謝の言葉、励ましの言葉を掛けている。決して無理強いしないようにしている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を受け止め職員の力だけでは不十分であり、家族と共に支え合いながら安心して生活出来るように努めている。	○	本人に新しい発見があったときに報告して喜んで頂いている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人のいい面、出来たこと、出来ることなど家族に知らせて、喜んでいただいている。	○	遠方から来られた家族には一緒の部屋で泊まって行かれる家族もいます。食事と一緒に頂いています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら支援に努めている。	○	ドライブがてら自宅周辺を回ってきたりしている。またなじみの美容員に行ったり、行きつけの銀行に行くなどしている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者が自由に過ごせるように、居場所の確保に努めている。	○	廊下の一角のパブリックで仲良し同士、女性同士で話をしたり、又和室に足を伸ばし談話されている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了時に家族の方がとまどわないよう、支援に努めている。(母体施設への入所申し込み等をして頂いている。)	○	同敷地内に老人施設があるので本人や家族とも時々会ったり、話をしたりしている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に会話の中から汲みとり、意向に添える様に努めている。家族の協力も得ている。	○	・特に外出したい人には隣棟で出かける時にも一緒に外出してもらっている。 ・将棋好きの方にはボランティア、デイサービス利用時にきてもらっている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ゆっくりと個々に話し合う事により、生活歴、好みや習慣を知りケアしている。	○	同左
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活を共にする事で常に利用者に関わり、包括的に個人を支えられるように努めている。	○	個々人の毎日の健康チェックや一日の生活の様子(夜間帯も含む)の記録やセンター方式等を使用し把握に努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向を取り入れ、計画作成している。担当職員が課題分析を行い、それに基づいて計画担当者がプランを作成している。家族に説明し同意を得てから確認印をいただいている。	○	毎月1回カンファレンスを行い、評価(達成度)を行い確認し、モニタリングを行い、必要に応じて(状態に応じて)プランの見直しを行っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人家族の意向を取り入れ、その人らしく生活できる様に計画を立て、支援している。入院等により状態に何らかの変化があった場合はその都度プランの見直しを行っている。	○	職員間で毎月カンファレンスを持ち、ケアプランの達成度等も話し合っている。(家族にも同意を得ている。)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとに記録があり、毎日チェックする事で情報を共有している。	○	ケアチェック表を毎日チェックしケアプランの達成度をみて検討し、必要に応じて見直しを行っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望があった場合にはいつでも外出、外泊出来るようにしている。通院は家族の状況を考慮し、職員が対応している。地域への貢献の一環としてショートステイ、デイサービス利用を開始している。	○	・面会時に食事に出かけたり、自宅や親戚に行ったりしている。・通院はほとんどがホーム対応となっている。 ・11/1よりデイサービス、空きベッド利用のショートステイが出来るようになった。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進会議、ボランティアの人たちからの情報や防災訓練等においての地域協力員の方達の助言を頂きながら、共に暮らしている。	○	・社協のボランティア月2回、その他菊作りの指導、折り紙、芸能、将棋ボランティアなど数多くきて頂いている。 ・地域で行う文化祭、民謡、踊り見学に参加。 ・小、中学校の運動会、文化祭への招待。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ホームを最後の住み家とご本人、家族が捉えている方も多く、ターミナルもお願いしたいと言う要望もあります。状態低下での支援を検討しています。	○	状態の低下やターミナルケアに伴い訪問看護も必要になると思われるので、今後も検討していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向、必要性に応じて包括支援センターと連絡を取り合っている。	○	・包括支援センターの保健師よりの紹介で入所された方の状態報告。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・医療機関への受診は殆ど行っている。・退院の受入も不安があったが状態が悪いときはいつでも受診するようにとの主治医の言葉に励まされ、退院後も安心して支援する事が出来ている。	○	どうしても対応しきれない場合は家族に送迎をお願いしたり、付き添ってもらえる場合がある。出来る限り、互いに情報交換を行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	メンタル受診の支援を行っている。	○	入所前より受診されている方を家族に替わり、通院の付き添いを行っている。家族も同行する時もある。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	母体施設の看護師に直接処置を依頼したり、相談して指示を得る時がある。	○	ちょっとした傷の処置、湿疹等をみてもらっている。その結果により病院につれて行ったりする事もある。自分達だけで判断し兼ねる時は相談している。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院時は必ず家族に同行し情報交換及び相談に努めている。入院中はたびたび面会や状態を伺っている。今後のことを看護師と話し合い早期退院に努めている。	○	退院時医師、家族、職員との面談をしている。私どもの思いも伝えることができた。また先生から励まされ、勇気づけられた。これからも必要である。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療行為の必要性のある家族に働きかけ老人ホームに申し込みする。看取り介護の具体的支援内容はまだない。	○	看取りに関する方針をはっきりし、その上でご家族との話し合いになると思う。今後早急に取り組むべきことと思う。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	契約時医療行為が必要な場合はグループホームで出来ない旨をはなしている。	○	ホーム内ではまだ看取りした経験ない。状態低下は防ぎようが無いので検討する必要がある。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームを退所する際には、前もって本人にも話している。時々老人ホームのことを話題にして出来るだけ不安にならないように努めている。	○	家族にも十分に話し理解して頂く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に様々な場面において尊敬し支援している。(呼び方、目線、口調、声のトーンなど)	○ お年寄りを尊ぶ気持ちがないと、いろんな場面に現れてくるので職員全員で常に心掛けている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の利用者に合わせ話し、自己決定出来るように支援している。	○ 耳元でゆっくりと話している。時には必要に応じて筆談で希望を聞いたりして意思を確認している。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムを把握し自分なりの生活が出来るように努めている。又個々人の力量、要求を察し支援している。	○ 夜間のテレビの時間帯も決めていない。他の利用者の迷惑にならない音量でスポーツ番組を見ている方もいる。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの美容院への送迎支援をしている。出張床屋は本人の希望に合わせている。身だしなみ、おしゃれもその人らしく行えるようお手伝いしている。	○ 今後も同左
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養面に配慮した献立で旬の食材を取り入れている。風習や行事などを考慮している。利用者、職員で食事の準備をしている。そして楽しく食事出来るよう配慮している。	○ 食事前にトイレ誘導、テレビを消し明るく楽しい話題でゆっくり食べている。利用者にあわせ「刻み食」にしたりしている。日曜日はフリー献立を利用者と一緒に話し合って作成している。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の時間以外にも自由に飲めるよう、コーヒー、紅茶、ココアなど準備している。又喫煙する方はその都度喫煙コーナーで職員が見守りしている。	○ お酒は行事のときに提供している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿表を記録し一人ひとりのパターンを把握して支援している。誘導にも配慮している。状態に合わせて下着を選んでいる。	○	オムツは出来るだけ使用しない方針です。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月曜日～土曜日まで毎日入浴出来る。ゆっくり入浴出来るよう、事故がないように個々に合わせて支援している。誘い方を工夫している。	○	母体施設の浴槽を拝借している利用者もいる。足浴器具を使用している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	睡眠パターンを把握し支援している。日中は散歩や外気浴等活動を行い夜間はゆっくり眠れるよう支援している。	○	冷暖房も居室に設置してあり使用している。入所後眠剤を中止した方もいる。
を				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	多種目に活動を準備し好きな事を選択できるようにしている。(料理、手芸、菊作り、畑、将棋、図書館、折り紙など)	○	個々人の見いだせない部分を、もっと深く理解出来るように努めたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物時には自分で支払いしている。日常的にも管理出来る方は本人が持っている。無理な方はホームの金庫に預かっている。	○	家族より預かったときは預かり書を発行している。個人の出納帳を毎月家族に渡している。確認印を頂いている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を出来るだけ取り入れ行ってみたい場所、馴染みの場所などに出かけている。	○	車椅子の方や車酔いされる方なども状態に合わせて外出している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	今年は「狛鼻溪の舟下り」に出かけ自然を満喫する。(車椅子の方も参加)家族に了解得てから出かけた。	○	遠方に出かけるときは、家族参加にしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	友人とはがきを交換していた方も最近は互いに途絶えてきている。小、中学校へ出かけた際のお礼状等、又お孫さんからの返信など支援している。	○	年賀はがきを活動の時間に取り入れている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お客様に対しては(面会の方)又きて頂けるよう、居室に飲み物を運び寛いで頂けるように支援している。	○	出迎えや帰られる時にはお礼の言葉を交わしている。
9				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は常にそのことを念頭に拘束のないケアに努めている。拘束、虐待の研修に参加し理解しあっている	○	先輩の職員より指導ある。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵はかけていない。職員が目配りしている。又外出傾向にある方に対しては、併設施設に情報提供し協力体制をとっている。	○	常に利用者の居場所を確認している。外出傾向のかたの持ち物に注意している。(バックを持つ。化粧をする)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の居場所の確認に努めている。夜間は全居室に施錠している。	○	同左
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じ取り組んでいる。(洗剤類、義歯洗浄剤、はさみ、包丁)その他危険物などは専用の倉庫にいれ施錠している。	○	認知症の進行に連れ突発的行動出てきている方あり特に気配りしている。(歯ブラシにハンドクリームをつける)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態を把握し状態に応じた支援に努めている。	○	マニュアルの見直しや計画的に勉強会を持って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアル化して見やすい場所に掲示し常時熟知出来るようにしている。AED(除細動器)設置し講習受ける。	○ 定期的な勉強会やあわせて対応出来るように各自学習する必要がある。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回避難訓練を実施している。又年2回消防署立ち会い、地域協力員の立ち会いのもとに行っている。自動通報装置を設置する。業者による定期的点検を施行。	○ 11月14日に暗くなってから、避難誘導訓練施行した。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時に説明している。又面会時にも必要に応じ話しあっている。	○ 同左
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ちよつとした体調の変化も見逃すことのないよう常時努めている。利用者の健康チェックし記録している。又外来記録を記入し共有している。また必要に応じ家族に報告している。	○ 看護師が常時いるわけではないので全員が早期発見出来るよう努力している。母体施設の看護師に相談している。(11月より准看護資格者採用)
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧表を作成し見やすい場所に掲示し確認している。	○ 薬剤師との勉強会に参加。2回目もあり参加予定。全職員に伝達予定。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取量の確保出来るよう配慮している。毎日の牛乳と野菜、海草、ヨーグルトなど盛りだくさん取り入れた料理。散歩などして身体を動かし便秘予防に努めている。	○ 入所後自然排便になった方、毎回下剤を使用しなくなった方もいます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、晩の歯磨きは個々に応じ支援している。昼食後にも声かけしている。又うがいを支援している。	○ 義歯もなく、うがいも出来ない方には、食事後にお茶を摂取して頂き口腔内に食物残渣ないかを確認している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調に合わせたカロリー、糖分、塩分の摂取に努めている。状態に合わせ補食も準備している。食事摂取量を記録している。	○	栄養士の献立作成。1日1400カロリー。必要に応じ刻み食、ペースト食にしている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成しこれに基づき実行している。手洗い、消毒、温度湿度の管理、調理器具の消毒。利用者、職員全員インフルエンザの予防接種している。	○	感染症の病原体は常在菌な為感染しやすいので細心の注意を払い予防に努めている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に冷蔵庫内の整理、消毒をしている。調理用具は毎日消毒する。食材は1日分を届けて頂く。	○	調理した食品は翌日まで持ち越さない。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに季節ごとに花を植えベンチを置いていつでもどなたでも休むことが出来、楽しく観賞している。	○	老人ホーム、デイサービス利用者の方も見えられ、一緒に談話している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物自体天井が高く、木のぬくもりがあり心地良さが伝わってくる。天窓から光が差し込みゆっくりくつろげる様配慮している。	○	・室内の温度や換気に注意し、照明も優しくしている。 ・季節ごとに装飾を変えたり、夏にはすだれ等をつけて西日を防いでいる。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の一角にパブリックを設け読書をしたり、外を眺めながら過ごせるスペースがある。又、この場所で喫煙をする方もおられる。	○	同左

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得ながら、本人に合わせた室内環境をつくり、それぞれ個性的になっている。	○	ソファーやこたつ、カーペットを敷いたりしている。又飾り物、置物等も様々である。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温湿度計にて常時配慮している。又こまめに換気し空気がよどまないようにしている。補助具をつけ、冷暖房が直接身体にあたるのを防いでいる。	○	空気清浄機、加湿器、トイレにはパネルヒーターを設置している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレには手すりを設置している。ある個人の利用者の希望で居室入り口や内部にも手すりを設けている。	○	同左
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自分の居室が分かりやすいような表札を工夫して、つけている。時計、カレンダーも本人が一番見やすく、分かりやすい場所に置いている。排便したのをすぐに忘れる方には、トイレに記入出来る小さいボードを準備している。	○	同左
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周りや玄関に草花を植えたり、畑で野菜を育てて収穫をみんな喜び合っている。農村公園も隣接されており、散歩したり、お茶をそこで飲んだり、秋には栗、クルミを拾って楽しんでいる。又敷地内にも栗や梅の木があり、収穫している。	○	同左

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・職員体制を3～4人体制にすることにより、一人一ひとりの利用者へのケアが充分に出来る。
- ・経験に応じた研修を受講してもらいスキルアップを図り現場で活かしている。結果殆どの職員が何らかの有資格者である。
- ・農村公園に隣接している事から外気浴や散歩・お花見・どんぐり拾い・栗拾い等四季折々の楽しみを行え又室内からも愛でる事が出来ます。
- ・近くに新幹線の駅や高速道路のインター等有り交通の便にも恵まれている事から遠方の方々も良く面会に来られます。
- ・共用型のデイサービス・空きベッドを利用したショートステイ等を行っています。
- ・交通の便の良い所で民家の中にあり、大型ショッピングセンターもすぐ近くで住まうにも便利な所です。
- ・グループホームとしては4年目ですが、他の事業は25年間の歴史があり地域の福祉資源として率先して牽引役を引き受けて来ました。
- ・良心的な料金である。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的なかつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム「なごみ」
(ユニット名)	古 都
所在地 (県・市町村名)	宮城県栗原市志波姫
記入者名 (管理者)	副管理者 浅沼 まき子
記入日	平成19年11月27日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	地域密着型サービスとして11月より共用型デイサービスを行なっています。それに伴い理念の検討を行なう予定です。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	玄関を入った所に掲示しているので出勤したら心に留めてその日の指針にするように話しています。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	お客様の来園時にはフロアに入る戸そのものに「なごんで下さい」の布製の「のれん」を掲げています。左記と同様。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	特養ホーム・デイサービスの方々の訪問・「地域協力員」体制を整え、異変時のみならず何かとお世話頂いていますので地域の方々とは親しい関係でいます。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	・春の除草奉仕・秋の落ち葉拾い・芋掘り会や園での夏祭り時プログラムの一端を担って頂いています。園での各行事への招待参加を頂いています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・空きベットを利用した短期入所対応 ・共用型デイサービスの開始	○	地域密着ケアの事業所として多様性に富むサービスを実践して行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	グループホームは閉鎖的で外部からは見え難いし入居されている方々は外部に訴える力を持ち合わせてない事が多い為導入された制度と理解しています。	○	今回も職員に3ヶ月前に自己評価表を渡していますが、業務時間内に記入が難しく記入したものをじっくり確認したり検討を重ねることが難しい。しかし制度のお陰で仕事に対する姿勢を吟味出来るので、一層具体化して資質向上に持って行きたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催されており、その席上では具体的に施設の実情を話し合っており、実際利用者の出席も得て発言も頂いています。	○	出席頂いている方々は「福祉とは何か」を分っている方々ですが、具体的に「グループホームとは」となると「？」。やっど「そうか」と知名度も上がってきたところ。他では会議の内容をどんな風な物を取り上げているのか知りたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には勿論、何かの機会に訪問を頂いていますし、今回新規事業を展開するに当り頻繁に担当者より指導・助言を頂きました。	○	相談窓口として気軽にお付き合いして頂きたい。空き情報や現状報告をしネットワークの拠点として利用者と事業所の掲示板的でしかし総合的な役割を果たして頂きたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修などには積極的に参加している。研修報告を処遇会議で発表している。	○	・権利侵害とは何かを知らなければ、其れと知らずに行なう可能性が有り職員個々の視点が欲しいし、事業所としても時間をとって学習会を行ないたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事例ではありませんので、研修や資格試験の際に学ぶ事になります。そして会議で伝達しています。	○	・どんな事が虐待になるのか事業所としても時間をとり学習会を行ないたい。又早急に基本的な資料は提示する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>管理者及び介護支援専門員の有資格者が担当している。そして契約時に判りやすくご説明し理解を頂いています。今回ショートステイを行なうに当たり同意書を頂いています。</p>	○	<p>新事業も入所様・ご家族様の面会時・広報誌等で説明しています。又利用者ご本人・ご家族の声にならない声をくみ上げられるよう努めて行きたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>面会時や諸文書郵送時を捉え思いを伺っている。他に意見箱をもうけて呼びかけている。</p>	○	<p>利用者の方々は書くと言う事が不得手であることから、何でも話せる雰囲気の日頃から培っている。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>月1度請求書発送時に「お便り」として近況報告・小遣い帳の写し・なごみだより(年1～2回)を同封している。面会時に小遣い帳・ケア記録等に説明し同意を頂いている。</p>	○	<p>面会時には居合わせた職員が対応しているが担当職員が居合わせた時には主にその職員が報告・応対するようにしていきたい。外来受診時に変わりが無かったとしても報告を心がけたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>外部評価機関のアンケートが外部者へ表せる機会である。相対的に反映できるかもしれないが、直接的には無理である。推進会議で家族代表がおり意見を伺ったり、面会時に口頭で何う様努めています。</p>	○	<p>家族会等利用者同士の顔を合わせる場を設けたい。苦情相談の名称ではなく「何でも相談」として広報誌に掲載してもいいのではと思っています。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>引き継ぎ帳や処遇会議の席上又日々の業務の中で意見を聞くようにしている。管理者同士でそれを話し合い反映するように取り組んでいる。又福祉会全体の勉強会をおこなっています</p>	○	<p>文書で提案されたものについては行い易いが日常業務の中でのものは流され易い。個々に記録して貰い日を決めて検討する日を設けたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>変則的な勤務体制なので不測時の対応の為人員を確保している。又職員には調整に関しても多大な協力をして貰っている。</p>	○	<p>自分の生活スタイルに合った形態で仕事をしたいと希望される方がおり対応出来ている。他勤務表作成に際し職員全員に休み希望を聞き対応しています。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>異動は出来るだけ行なわないようにしています。しかし職員の資質に関する場合はその限りではない。変更ある時には必ず知らせ不安を最小限に抑えるよう努めています。</p>	○	<p>新事業を行なうに当り職員の増員を行ないました。この4月より棟異動も含め8名の内3名が替わっています。しかしもう馴染みの関係は作られたと思っています。お別れ会や新職員紹介は必ず全員揃ったところで行なっています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加して頂いている。中途採用者は有資格者・人生経験の豊富な方であることから来年度に研修を予定している。現場に於いては本人の意識を育てるよう語りかけている。計画は1人2～3回の研修を予定しています。	○ 介護の現場は実務経験3年で介護福祉士、取得後経験5年で介護支援専門員と目標とすべき資格が明確です。又スキルアップの為に個人研究を大いに支援したいし合格の際には祝って上げる。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○ 地域の同業者で年1回の意見交換会を行い、今年度については管理者は3回・職員交流については8回相互訪問を行っています。疑問点があった場合に一緒に考えてくれる仲間の存在は有り難いです。	○ 交流することにより、自事業所の長所・短所を発見し具体的にそれ以後の仕事に活かせる様具現化する。又同業者としての共通項を共有し話せる仲間作りを個人レベルでも培って欲しい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○ 1度意識調査(アンケート方式)を行なっています。恒常的に時間外にならないように時間内に記録出来る様割り振りしている。しかし管理者や経験の長い職員には負担の掛かる率が高い状況である。	○ 多くなっている記録物を簡単記録出来る機械があれば導入したい。又工夫の余地があればと比較検討する。終了時間を迎える職員の残務を継続する職員が出来る様全体のレベルアップを図りたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○ 能力給の給料体系を考慮中。資格取得者には報奨金が出ています。頑張っている点を誉める。笑顔で働ける職場環境を創る。職員個々人を見る様務める。	○ 左記を具体的に実践すること。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ 顔色・全身状態から汲み取る様努めている。夜勤を利用して訴えてくる方には、時間を取り伺う様に努めている。	○ 目で訴えられる方、言葉で発せられず身体で表される方にも適切に受け止める努力している。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ 面会時に伺う事としている。ケアプラン作成時又入退院時必ず病院に伺い医師及び看護師より家族と共にお話を伺っている。電話での場合にも当然対応しています。	○ 左記の通り。その為にも自身のスキルアップが当然であるし仲間のネットワークも力になるので大切にしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた事に関して誠実に対応しています。又入所申し込み時に待機者となる方にもアドバイスをしています。	○	入院については当たり前であるがかなり低下した状態がその時であれば検討を要する課題です。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にベテラン職員が相談に応じていますし、ご利用前に自宅・病院に向きご本人と面接し生活の様子を伺ったりお試しサービスを実施して頂いています。	○	現実に行なっているサービスを近隣のサービス事業者へPRしていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事全般・他の知識に於いて、無駄のない語り口や同時に物事をこなす事等見習うべき事柄が多々あります。共有できる部分を多く経験する事により一方通行の関係にならないようにしている。	○	利用者の一人ひとりのできる事、したいことを見極め工夫をして行なって頂いている。して下さったときには感謝の言葉掛けをしています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	情報の発信元との立場ばかりではなく、全てに於いて取分け変化の生じた場合には連絡を取り合い相互の協力が無ければいけない今の関係を継続していきます。	○	やはり肉親や自分を気に掛けてくれる友人・知人の訪問は取分け嬉しいものです。その方々にも広報等出来ればお渡したいと思います。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	特別に問題のある家族関係は無いので現状通りを継続していきます。ご本人のいい面を面会時お話すようにしていきたい。	○	同左
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時には馴染みの物品をお持ち頂いています。個人的事情で休職している又する職員はいるものの異動は考えておらず、出来るだけ面会のお願ひも継続して行なっています。	○	同左
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	小さいトラブルは見受けられその都度対応し長引かない様又協力し合える関係が大切であることを思い起こす様支援しています。	○	状態に応じた部屋割り及び座席を決定していますが、話し合いの元変更すべきであればその様に行なってゆきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	該当者なしですが今後あれば広報郵送等で関係してゆきたい。	○	同左でご質問を頂ければ対応を致します。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成に当り家族や本人の意向を伺う様に努めている。	○	具体的な意向や意見があまり頂けなく日々の生活の中から汲み取り本人本位に検討しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	開設4年目ともなり入所者の出入りもここ2年位認められないことから、ここでの生活が馴染みの暮らしとなっている部分がある。しかし話や習慣の中での馴染みを把握する様に努めている。	○	一人ひとりの生活歴を知り推し量ったケアを出来る様に、記録物や家族に伺った事により知る努力をしてゆきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	24時間生活記録の記入。定時のバイタル測定。変化の見られた場合の変化記録。そして個別に状態観察を綿密に行う様努めています。	○	誰かを必要としているサインを見逃さない様、職員は勤務時間中は全時間仕事にあたる様、私事・私語は慎むよう努めて話しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスには利用者個々の評価を行っており、出来なかった場合の検討を、又途中で変更の生じた場合には見直しを職員の意見を求めながら行なっています。	○	限られた時間にポイントを絞ったケア会議を持ちたいと思います。日々、ケアの現場で気付いた場合書き留める習慣を身に付ける様努める。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入退院時や状況に応じて見直しを行なっている。	○	同左

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	要注意者には24時間生活記録を記入し通院時や職員間の情報の共有の1つとしており、介護日誌・引継ぎ帳に気づきや工夫を記録する様に努めている。	○	同左
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望があった場合にはいつでも外泊・外出ができます。通院については職員の付き添いのもと行なっています。地域貢献としてショートステイ・デイサービスを行なっています。	○	同左
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議・地域協力員会議・防災訓練どれ1つとっても協力を頂かなくては推進出来ないものです。この視点で支援して行きたい。	○	今後も今まで以上にご協力を頂くよう努力したい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	やっと入居し最後の棲家とご本人・ご家族は捉えておられません。中にはターミナルも是非こちらでお願いしたいとの要望もあります。状態低下での支援を検討しています。	○	同左
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所にあたり交流を持っているものの平素は協働場面が少ない。しかし直近に権利擁護等での課題を抱えておられるご利用者様もおられるので今後大いにお世話になります。	○	職員の異動(特に計画作成者等)があった場合には、訪問するなどして顔見知りになっておくようにしたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関への受診は殆ど行なっています。退院後の受け入れも不安の中であったが、「状態の悪いときにはいつでも受診するように」との主治医の言葉に力を得て安心して支援することが出来ています。	○	今後ターミナルケアを考えた場合一層重要となりますので、医療機関の方々とは密接な情報交換をしてゆきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入所されている方は既に認知症の診断を受けて入所されています。しかし認知症の知識や周辺症状を知り具体的に対応する場面でメンタル受診している医師と相談出来るよう関係を築いて行きたい。	○	専門医とは最近関係を築き始めたばかりである為、支援を頂ける様お願いします。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	「少し気掛かりだなあ」の段階で施設内及び近在の看護師の助言を受けたり、来園を頂き行なっています。	○	有資格者の採用を見たので、実情に合うよう研修を行なう。同左であるが夜間に於いても助言を受けられるよう依頼する。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院時に於いて必ず管理者が家族に同行し、情報交換及び相談に努めています。又職員も出来るだけ見舞うよう努めています。	○	今後も同左
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療行為の必要性のあるご家族に働きかけ看護師常駐の特養に申し込みをして頂いています。ターミナルケアの具体的な支援はまだありません。	○	ターミナルケアに関する指針をはっきりし、ホームの方針を具体的にご家族や関係者に報告したい。又全員の話し合いを持ちたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	契約時医療行為が必要な場合はグループホームで出来ない旨を説明しています。	○	同上
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	努めています	○	同左

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩者である視点を忘れないように、子供に対する言葉掛けや誘導の際にも手首を持たない様注意しています。個人情報の保管は奥の扉のあるロッカーにしています。	○ 全てに於いて自分がして欲しいように行い、して欲しくないことは行なわないこれが基本です。これを守って行きたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々人に伺いながら支援をしています。	○ 着衣についても自分で着られない方にもその日に着るものを選んで頂ける様声掛けを行なっていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝・昼・夕にも体調や気分に変化を見ることが毎日です。口に出せる方については出来るだけ対応しますが、出来ない方については寄り添い、要求を押し量るように支援しています。	○ 今後も同左
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの理美容室へ送迎支援を出掛けられない方にはお出で頂いています。	○ 今後も同左
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「これは自分の仕事」と役割を持ち一緒に何らかの仕事をしています。	○ 今後も同左
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	持病のある方が多く禁止されていることもあり、特別な日の楽しみとしています。	○ 今後も同左

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿表を記録一人ひとりのパターンにあった排泄支援を行っています。夜間に於いても巡視時に目を開けていれば支援し、特別訴えのある方にもこまめに対応しています。	○	オムツは出来るだけ使用しない方針で改善の可能性があればご本人職員の取り組みを今後も行なっていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	略毎日入浴しています。しかし入浴時間については定着していることもあり午後2時以降になっています。又個々の状態に応じた入浴形態を取り入れています。	○	かつて個々人に入浴時間を伺ったことがあります。昼間の方がいい夜は疲れるし忙しいとの返事の為今後も現状維持です。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	冷暖房・加湿器・換気装置を積極的に稼働し対応し、又湿度計温度計を見てこまめに支援しています。	○	同左
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	天気に合わせて又気分に合わせて事前に分る分については計画に、季節に合った行事をマンネリにならない様に支援しています。	○	グループホームといえでも大まかな行事計画はあったほうが良く、その上で左記を組み合わせたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物時には当然ご本人が支払うように、又日常的にも管理できる方については本人管理を推進しています。その際ご家族は大体の所持金を把握しております。	○	今後も同左
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ対応している。しかしアクシデントが生じた場合は近日中にとその訳を説明し延期して頂く場合もありました。	○	出かける人が決まった方ばかりにならないようにしたい。又あまりに回数が多い時には検討することも考えています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族同行については大いに推進しております。	○	是非ご本人が大変喜ぶことをお伝えし、年に何度でも「可」であるのでお勧めする。帰ってらした時にはねぎらい「次回も」とそれとなく一声掛け勧めます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	小・中学校へ出かけた際のお礼の言葉や、友人との交際・家族との交信等全てに支援しています。	○	同左
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お客様に対しては特に又来て頂けるように、居室にお飲み物を運び寛いで頂く様に支援しています。	○	居室で持参された物を食される場合、カロリー制限のある方に対してコントロールが難しくなるので報告を頂く様になりたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。しかし転倒防止として不穩時にベット柵を2晩使用した経緯があります。ご家族様に口頭で許可を頂きましたが、今後は書面で頂きます。	○	身体拘束の禁止の対象となる具体的な行為とは何かを熟知する。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけておりません。	○	同左
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	何を行なっても利用者の所在を把握するように努めています。夜間に於いては侵入を想定し全ての場所の戸締りを役割を決めて行なっています。チェック表作成し確認しています。	○	同左
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	全てが危険なもの・事柄と見なせば見なせます。包丁は高い所に、洗剤類は所定の場所に保管しています。また食事時にはテレビを消すようにしています。誤嚥防止や食事に集中して頂く為です。	○	同左
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に所在の確認それと眠剤を服薬した夜間の対応に、誤嚥については姿勢・切る野菜の大きさなどに注意を払うよう指示しています。	○	マニュアルの見直しや計画的に勉強会を持っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ひやりはっと記録は行い各人読むようにしている。又会議の席上で報告・検討している。他にマニュアル化して熟知するようにしている。AED(除細動器)を設置し講習をうけています。	○ 非常に大切なことであるので全職員が確実にこなえるように定期的に訓練していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月1度の避難訓練を行なっています。地域協力員や消防署立会いの大掛かりな訓練は年2回行なっています。又自動通報装置を設置したり業者による定期点検を施行しています。	○ 水害に対する訓練は行なっていません(地形的に安全)が他全てを想定した訓練を行なっています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	面会時及びケアプラン作成に当ってお話し合いをしています。又説明時に於いても行っています。	○ 同左
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一例として入浴に関して:本人からの要望・血圧の状況・その日の状況を個々に判断して行なっています。それは日誌から又引き継ぎ帳報告し合うことから出来ることと思います。特に必要と認められる場合には時間を追った生活シートを記録して対応し家族にも報告しています。	○ 確実に記録し確実に見る事を今後も継続する。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護職が最も不得手としていることであるが、最も要求される事でもあり薬に変更が生じた場合の変化を詳細に記録する事により努めています。	○ 薬剤師とのネットワーク化の機運を具体化して正確な知識を得る様努力する。通院時に処方される薬の名前や効能・副作用を覚える。又疑問を持つ目を養いたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人で摂取出来ない方の確実な水分補給・繊維質の食材身体を動かす・成るべく薬に頼らない便秘予防を心掛けるよう支援しています。	○ 排便表を利用し服薬を行なっていますが、出来るだけ薬に頼らない取り組みをしていきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	出来る方には声掛けを出来ない方には介助にて行なっています。又おやつ時にはお茶や水分を充分摂取するように声掛けや支援を行っています。入れ歯の噛み合わせの不具合も検討しております。(歯科診療の往診依頼)	○ 自分で出来ない方について日に3回確実に支援出来る様努める。又自立している方についても声掛けなどで確認する様努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックや水分量(一日1300cc以上)は確実に摂って頂く様出来ない方について特にトロメをつけたり、介助にて行なっています。自立している方についても摂る意義を話し残さず摂って頂く様声掛けしています。	○	あくまで自立支援ですが、体調や気分の乗らない時には介助する場合があります。出来るだけ残さず、飲み物についてはお代わりも大いに結構ですと話しています。体力維持等の基本ですので注意しております。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食前の手洗い(利用者はアルコール消毒)・食事後の洗浄・その日最後の使用物品の消毒、汚物処理に対するマニュアル通りの行為や感染症に対しては職員は初期に全員接種し、ご利用者は家族の同意を得て予防接種を行なっています。	○	同左以外にも臨時的に行なわれるものがあれば対応して行きたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	翌朝までの食材を地元の商店より地産地消の方針の元納入して頂き使い切るようにしています。	○	今後も同左
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花・観葉植物・菊等シーズンに合わせて玄関先を飾り、椅子を用意し生垣から入って頂く様に楽しめるプランターも揃えてお客様をお待ちしています。	○	殆ど活動の中で楽しみながら行なっていますので今後も計画的に行なって行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ玄関には生の鉢植えや花をあしらひ、カウンターには季節の花をとお心掛けています。その他の面についても夫々対応しています。	○	壁面を利用した掲示物も季節に応じて変えています。ハード面でトイレ時の臭いが広がり易いので早目の消臭に努めるようにしたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関の上がり框の座席及び廊下のスペースを利用した「パブリック」を設けています。又掘りごたつを用意し楽しい語らいの場を提供しています。	○	同左

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の使い慣れた物を持ち込んで頂いています。それを事前に職員が日に干したり準備しご家族のお泊りを支援しています。(時には職員がお送りすることも)	○	今後も同左
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	開放的な造りでもあるので季節に合わせて、又月の目標としても左記に関しては実行している事柄です。	○	特に冬季に注意を要するので心して行なって行きたい。
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物品の設えで移動を楽にしたり、手すりを取り付けたり工夫をしています。しかし入浴に関しては直ぐに対応出来ない為ソフト面で工夫をしています。	○	ターミナルケアを考慮した造りではない為不具合が生じてきています。今後の事を考えてハード面にも手を加えなければならない事を運営者に訴えて行こうと思います。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレでの失敗の多い方には足型の目印を、その方の起居動作から推し量り耳元であるいは目を見てじっくりと会話や筆談で分って頂く様にしています。	○	個々人の特徴を全職員が情報として持ち適切な支援を行える又チームとしても連携できるようにしたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は外活動出来るだけ行なう様しています。玄関前にはプランターで季節の花を楽しみ、畑ではこれも季節の野菜を食卓で頂きました。周囲は梅・桜・栗・くるみの木々が楽しめ自然を堪能出来るようにしています。	○	花壇・畑は希望とする物では無いので資材を用意し造成に着手予定です。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・職員体制を3～4人体制にする事により、一人ひとりの利用者へのケアが充分に出来る。
- ・経験に応じた研修を受講して貰いスキルアップを図り現場で活かしている。結果殆どの職員が何らかの有資格者である。
- ・農村公園に隣接していることから外気浴や散歩・お花見・どんぐり拾い・栗拾い等四季折々の楽しみを行なえ又室内からも愛でることが出来ます。
- ・近くに新幹線の駅や高速道路のインター等有り交通の便にも恵まれていることから遠方の方々も良く面会に来られます。
- ・共用型のデイサービス・空きベットを利用したショートステイ等を行なっています。
- ・交通の便の良い所で民家の中にあり大型ショッピングセンターも直ぐ近くで住まうにも便利な所です。
- ・グループホームとしては4年目ですが、他の事業は25年間の歴史があり地域の福祉資源として率先して牽引役を引き受けて来ました。
- ・良心的な料金である。